

甲賀市少年センターだより

第4号



甲賀市水口町本丸1-20 みなくるプラザ内

TEL 0748-62-6010

FAX 0748-63-3977

メール k-syonen@city.koka.lg.jp



R6.12月発行

健やかな青少年の成長を願って



甲賀市少年補導委員会
会長 中井 徳昭

甲賀市少年補導委員会は、総勢79名の少年補導委員で構成され、街頭巡回補導を通じた声掛け(令和5年度70回実施、延386人出動)や薬物乱用防止教室(市内20の小中学校で実

施)等の啓発活動に取り組んでいます。また、甲賀市少年センターとの連携を中心に、甲賀警察署、甲賀市教育委員会及び甲賀市等の行政機関とも連携を図りながら、青少年の安全と安心の確保、健全で豊かな心の成長を願いながら活動を行っています。

ところで、近年、少年センターでの各種相談利用が増加しています。暴力や窃盗などの非行相談もありますが、しつけ生活、不登校、家庭環境に関する相談件数が多数を占めています。核家族化や少子化、SNSの普及による家庭・子育て環境の変化が影響しているのかも知れません。家庭での子育てを思うとき、作家重松清氏の話思い出します。概略は次のような話です。

中学生の一人息子を持つ父親Sさん。Sさんの息子も親や先生に反抗のしどおしで、Sさんはすっかり子育てに自信をなくしていた。ある夜、Sさんは息子をこっぴどく叱った。どうして親の気持ちを分かってくれないのか、どうして素直になってくれないのか…。情けなさともどかしさのあまり、Sさんはついに息子に手をあげてしまった。すると、息子は猛然と抗議に出た。父親の体罰をなじり、普段の口うるささに自分がいかに苦

しめられているかを訴えて、こんなふうに言った。「文句ばかり言うなよ！俺、生まれて始めて中学生やっているんだ！」

Sさん、啞然とした。屁理屈にもほどがある。だが、次の瞬間、売り言葉に買い言葉、Sさんは怒鳴り返していた。「うるさい！お父さんだって、中学生のおまえを育てるのは生まれて初めてだ！」

息子もきょとんとしてしまい、お互いに言葉が途切れた。しばらく沈黙の時間が流れた。そして、2人はどちらかともなく笑いだした。その後Sさんは、息子を叱るときにも「何故こんな簡単なことが分からないんだ」と嘆くのではなく、「お父さんもおまえも『生まれて初めて』なのだから、肩の力を抜いて、お互いにしっかりと向かい合っていこう」という気持ちになったという。

不安を抱えながら、自分の居場所を求めている青少年も少なくありません。また、大人が子供と向き合おうと思ってもうまくいかないこともあります。将来の不安や日常の悩み事、子供への対応方法に困ったときなど、少年センターにご相談ください。

少年補導委員においても、子供たちへの「あたたかさ」と「やさしさ」を忘れずに、街頭補導や薬物乱用防止教室を通じた子供たちへの声掛けに努めていきます。今後とも、青少年の健全育成に皆様のお力添えを宜しく願います。

少年補導功労者表彰受賞

おめでとうございます



坂本 正太郎 様

瀬古 祐嗣 様

少年補導功労感謝状受賞

(前会長)林 善彦 様

犯罪のない安全で明るく住みよい地域社会を実現するため、積極的に活動された功績により表彰されました。

「なくそう犯罪」滋賀安全なまちづくり県民大会

R6 少年センター相談受理状況

R6年4月～R6年10月末合計延べ990件(R5年10月末まで812件)
面談等284(241) 電話564(542) メール142(29)

	内 容	R 6 10 月末	R 5 10 月末	内 容	R 6 10 月末	R 5 10 月末
非 行 相 談	盗癖・窃盗	30	13	暴力行為	27	38
	校内暴力	29	30	家庭内暴力	29	10
	たかり・恐喝	0	2	薬物乱用	0	7
	飲酒	0	0	喫煙	3	0
	家出	4	20	無断外泊	11	7
	深夜徘徊	2	3	金銭乱用	43	4
	道交法違反	8	2	怠学	1	0
				小計	187	136
非 行 相 談 以 外	不登校	58	81	学校・学業	33	46
	就職・仕事	4	22	家庭	18	10
	しつけ生活	518	407	交友	119	20
	性	4	6	発達障害	0	0
	心の病	5	0	健康・身体	2	0
	いじめ	21	67	虐待	8	14
	有害環境	13	0	その他	0	3
				小計	803	676

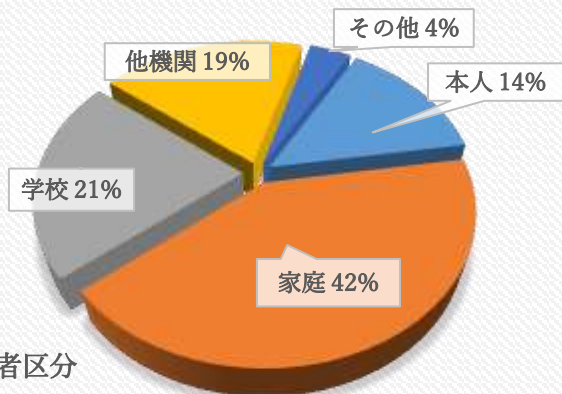
○相談者内訳

本人	140	162	家庭	412	185
学校	213	211	職場	0	11
関係機関	187	231	その他	38	12

○相談対象少年内訳

小学生以下	58	61	中学生	475	272
高校生	152	139	学生その他	173	82
有職少年	81	192	無職少年	51	66

太字数字は増加



相談者区分

日野子ども家庭相談センター 研修

令和6年度甲賀市少年補導委員管外研修で、今年度から新設された「日野子ども家庭相談センター」を訪問しました。センターの西澤様から子ども家庭相談センターの機能や児童虐待の基礎や対応などについて詳しく説明を受けました。本来は子どもの相談を受ける場所であるが現状はほぼ虐待対応になっており、児童虐待に介入する目的は子どもの発達する権利の保障(生きやすさの保障)をするためなどご講和いただきました。

◆相談活動の現状

本年度10月末時点では、延べ受理件数が990件で前年同時期812件(+178件の増加)の約1.2倍となっています。

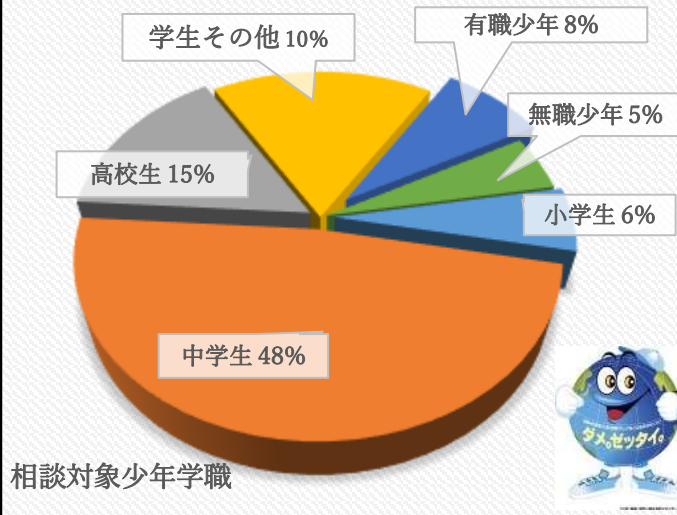
相談者区分としては、本人からが140件で前年同時期162件(-22件の減少)から多少減少していますが、家庭からが約2.2倍、その他の少年補導委員や一般の方からなど多様な方からの相談が増加しました。

対象少年別では中学生に対する相談が圧倒的に多く、合計475人で前年同時期272人の約1.7倍となり、学生その他の少年の相談が173件と前年度同時期の82件(+91件の増加)から2.1倍と大幅な伸びを示しています。

昨年は低年齢化が顕著に現れていましたが、今年度は中学校を卒業した少年が絡んだ問題が増加しています。小学生に関しては、相談少年人数は増加していませんが、学級単位や学年単位で相談を受け、抱える問題は大きくなっています。

また、「非行相談」に関し、本年度187件、前年同時期136件(+51件の増加)約1.4倍と伸びを示しており、相談内容的にも盗癖・窃盗が30件、前年同時期13件(+17件の増加)で、前年の2.3倍となるなど非行の入り口とされる万引きや自転車盗などに収まらず、報道されるような大きな事件も発生しています。他に「家庭内暴力・金銭乱費や金品持出などの金銭にかかわる問題・道交法違反」が増加しています。

「非行相談以外」では、「しつけ・生活」と「交友」についての相談が多く、家庭からの相談が倍増していることと相関関係になっています。



相談対象少年学職

困ったときは

ひとりで悩まないで 気軽にお電話を!

秘密厳守・無料

交友関係、生活、いじめ、

家族、学業、不登校、就労など

相談日：平日のみ(9時00分～16時00分)

年末年始、土、日、祝日は休み

(0748) 62-6010

k-syonen@city.koka.lg.jp

